

総務建設常任委員会協議会 説明資料

令和7年11月13日

富士見地区における新たな公共交通について

資 料

1	昨年度までの経過	1
2	今年度の検討経過	1～2
3	今後の対応	2

参考資料1 R7.10.18 富士見地区住民説明会資料

参考資料2 富士見地区住民説明会における意見

都市計画課

富士見地区における新たな公共交通について

1 昨年度までの経過

○平成 14 年

道路運送法改正に伴い、神奈川中央交通㈱から路線バスの退出の申し出を受ける。

○平成 20 年

9 月より、昼間の時間帯は町が事業委託し、無償コミュニティバス（国府支所～富士見地区～二宮診療所）の試行運行を開始。

朝晩は神奈川中央交通㈱による路線バスを継続する。

○平成 22 年

6 月、『大磯町地域公共交通総合連携計画』を策定。

○平成 24 年

4 月より、現行の補助路線バスの運行を開始。

○令和 3 年

4 月より、補助路線バスの早朝 1 便を平塚市民病院行きとする。

○令和 6 年

3 月、『大磯町地域公共交通計画』を策定。

4 月より、補助路線バスの最終 1 便が減便となる。

代替として、最終便の時間帯をタクシー利用助成により補完する。

6 月、神奈川中央交通㈱より、補助路線バスの車両（2 台）が 10 年間の耐用年数を超えており買い替えの必要性があること、運転手不足のため運行継続が難しいことの申し出を受ける。

9 月、地域需要に即した輸送手段として、AI システムを搭載したデマンド型乗合交通の検討を始め、富士見地区において意見交換会を実施した。



2 今年度の検討経過

(1) 令和 7 年度第 1 回大磯町地域公共交通会議にて説明

6 月、富士見地区の補助路線バス撤退に伴い新たな公共交通として、AI デマンド型乗合交通を検討していること、第 2 回会議（令和 7 年 12 月開催予定）において方向性をお示しすることを説明した。

(2) AI デマンド型乗合交通の導入有効性を検討

○先進自治体事例を研究

神奈川県葉山町、松田町など

○事業者へのヒアリングを実施

システム事業者、運行事業者、車両購入など

○国庫補助金などの活用を検討

○地域の実情に合った交通手段であるかを検証

○タクシー助成と比較検討したところ、富士見地区においては、AI デマンド型乗合交通よりもタクシー助成が有効な手段であると判断した。

(3) タクシー助成の導入に向けた検討

既存のタクシー事業を活用し、補助路線バスの運行時間帯をカバーすることを検討。

運行事業者、関東運輸局等へ確認。

(4) 児童・生徒通学用に車両借上運行の導入に向けた検討

国府小学校・中学校の登下校には、町が事業委託により中型バス等を運行することを検討。

運行事業者、関東運輸局等へ確認。

9月19日（金）から10月5日（日）の間、保護者へアンケートを実施。

現在の通学方法と今後の通学手段の活用について、意見を伺った。

(5) 地区への説明会を実施

10月18日（土）、これまでの検討経過と今後の方向性を説明し、意見をお聞きした。

詳細は、参考資料1・2のとおり。

3 今後の対応

(1) 地区への回覧及び意見募集の実施について

10月18日の説明会資料を回覧し、11月16日（日）まで意見募集を実施。

説明会当日の意見と合わせ、後日、回答も含めた形で回覧を実施予定。

(2) 保護者へのアンケートの実施について

国府小学校・中学校の児童・生徒保護者に対し、より詳細なアンケートを実施する予定。

(3) 補助路線バスの継続について

富士見地区の公共交通が途切れることがないように、現行の補助路線バスについては、町における新たな公共交通が開始となるまでの間、神奈川中央交通(株)では継続運行を保障いただいている。

令和8年4月に、直ちに補助路線バスが廃止となるわけではない。

(4) 令和8年度当初予算要求について

新たな公共交通として、タクシー助成と通学用車両運行に伴う予算等を新たに要求する見込み。

また、新たな公共交通の導入までの間、現行の補助路線バスを継続運行する費用及び撤退に伴う費用等を予算要求する見込み。

(5) 令和7年度第2回大磯町地域公共交通会議への説明について

12月、AI デマンド型乗合交通の検討経過と今後の方向性を説明する。

(6) 地区ごとの説明会実施について

令和8年度予算可決後、4月以降、地区ごとに説明会を実施し、新たな公共交通の周知及び利用に伴う申請手続き等を行う予定。

富士見地区における 新たな公共交通について

参考資料 1

資料 R7.10.18
富士見地区説明会 虫窪会館
14時00分～

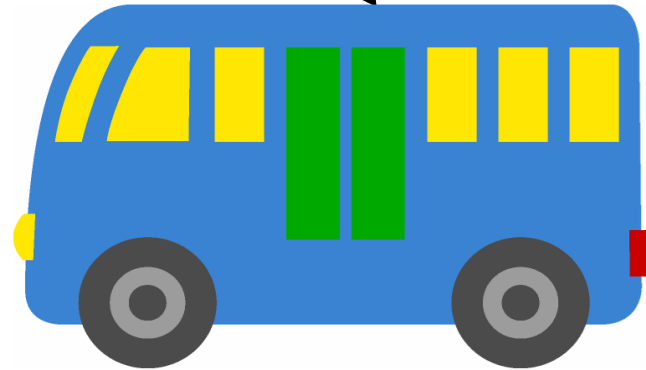
お出かけはタクシーで！

タクシー補助を実施予定！

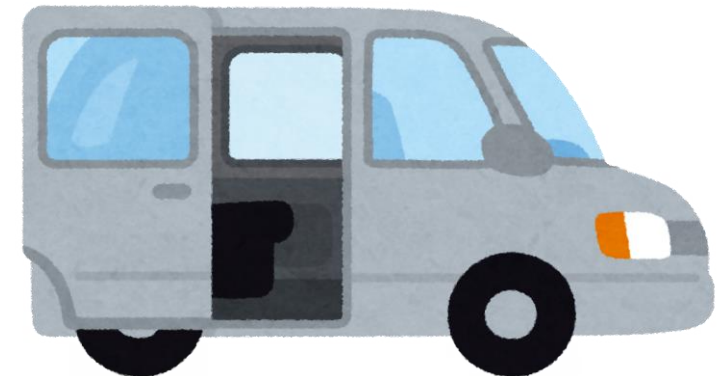


子どもたちの通学は乗合いで！

登校はバス！

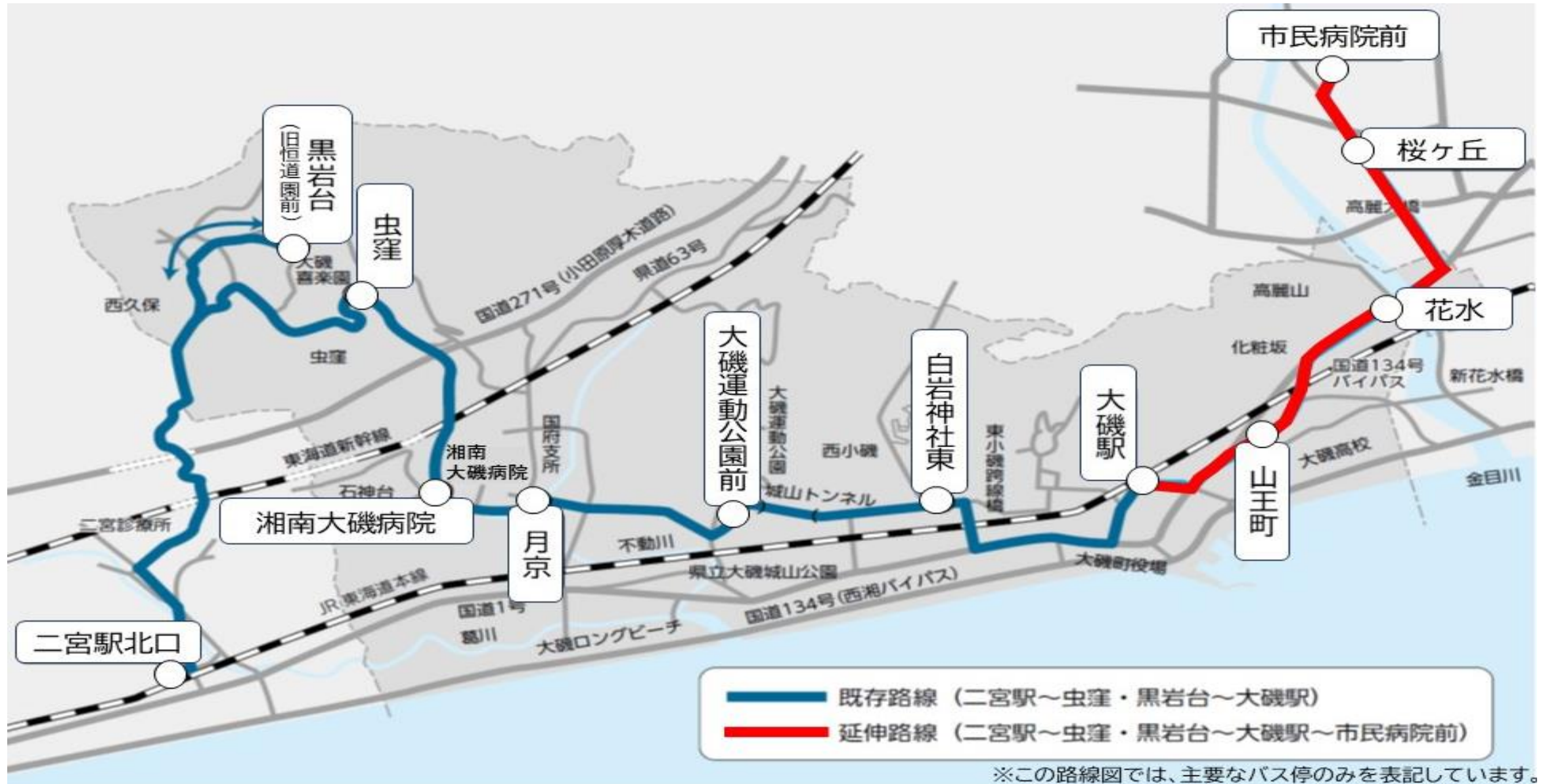


下校はハイヤー



大磯町都市計画課

【神奈川中央交通 撤退するバス路線】

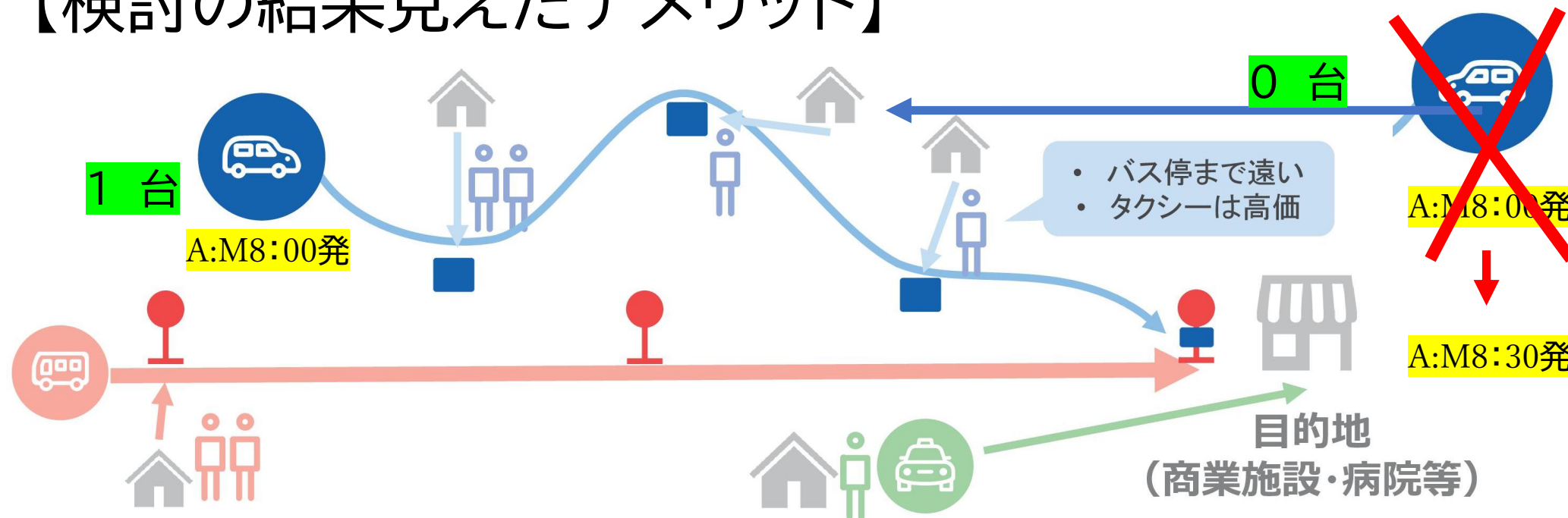


【AIデマンド交通 イメージ図】



出典：大阪府HP ★マークは乗降ポイント

【検討の結果見えたデメリット】



① 乗降ポイントまで自宅から歩かなければならない

② 利用可能時間が短い

③ 発車時間が決まっている

④ 待ち時間が発生する



種 類	タ ク シ ー 助 成		AIデマンド交通（乗合タクシー事業）	
概 要	 【4人乗り】		 【7人～9人乗り】	
運 行 形 態	・アプリ、電話で予約 ・区域内のどこでも乗降車可能 ・自宅前まで迎車が可能	○	・アプリ、電話で予約 ・ポイント(バス停)で乗降車 ・ポイント(バス停)まで徒歩で移動が必要	×
運 行 時 間	・7時30分から20時30分まで	○	・8時00分から18時00分まで	×
料 金 想 定	・1台で500円 (1～4人乗車しても1台で500円)	○	・1人で500円 ※西小磯乗合タクシー参照 2人で800円、3人で1,050円	△
運行開始までの期間	・既存のタクシー事業を活用するため (開始見込みはR8年9月)	○	・地域公共交通会議で決定し運輸局への申請や車両購入に期間を要する (開始見込みはR8年12月)	△
運 行 本 数	・時間を幅広く設定、本数制限はない	○	・30分に1便の運行、車両1台のみ	×
実 績	・富士見地区で運行（19時30分～20時30分）	○	・大磯町での実績は無い	×

【事業内容】

[①タクシー助成について]

利用時に町発行のカードを提示。

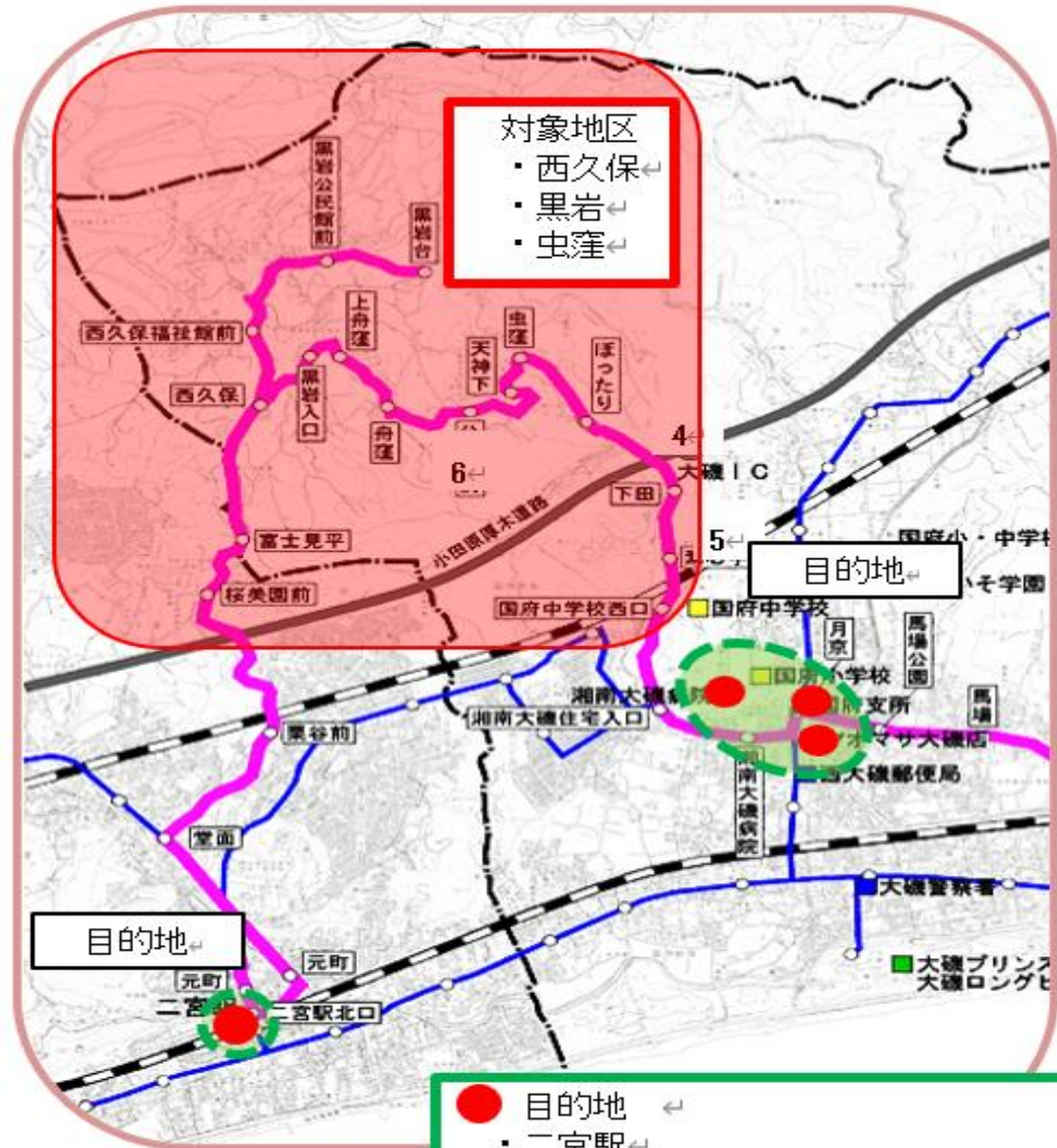
利用者負担は**500円/1回/1台**。

自宅（**赤枠内**）から目的地●まで。

目的地●から自宅（**赤枠内**）まで。

7時30分から**20時30分**まで

〈令和8年 秋頃 運用開始予定〉



- 目的地
- ・二宮駅
- ・大磯町役場国府支所
- ・ヤオマサ大磯店
- ・医療法人徳洲会湘南大磯病院

【事業内容】【②児童・生徒通学用の車両について】

〈方 法〉 町が中型バスと大型タクシーを時間単位で貸切る

※白ナンバーでのサービス範囲での運用

〈対象者〉 富士見地区（西久保・黒岩・虫窪）に住所を置く町立国府小・中学生

〈集合場所〉 児童・生徒が安全に乗降できる場所 下図参照

〈料 金〉 児童・生徒からは徴収しない、事前に保護者に支払いをお願いする

※現在運行するバスの料金と同等程度を想定

〈乗り方〉 児童・生徒は町発行のカードを携帯する乗車時にカードを提示する

〈出発時間〉 (朝) 7時30分頃 (夕) 15時00分から17時00分の間で調整

〈車両便数〉 (朝)は中型バスで1便 (20人乗り程度)

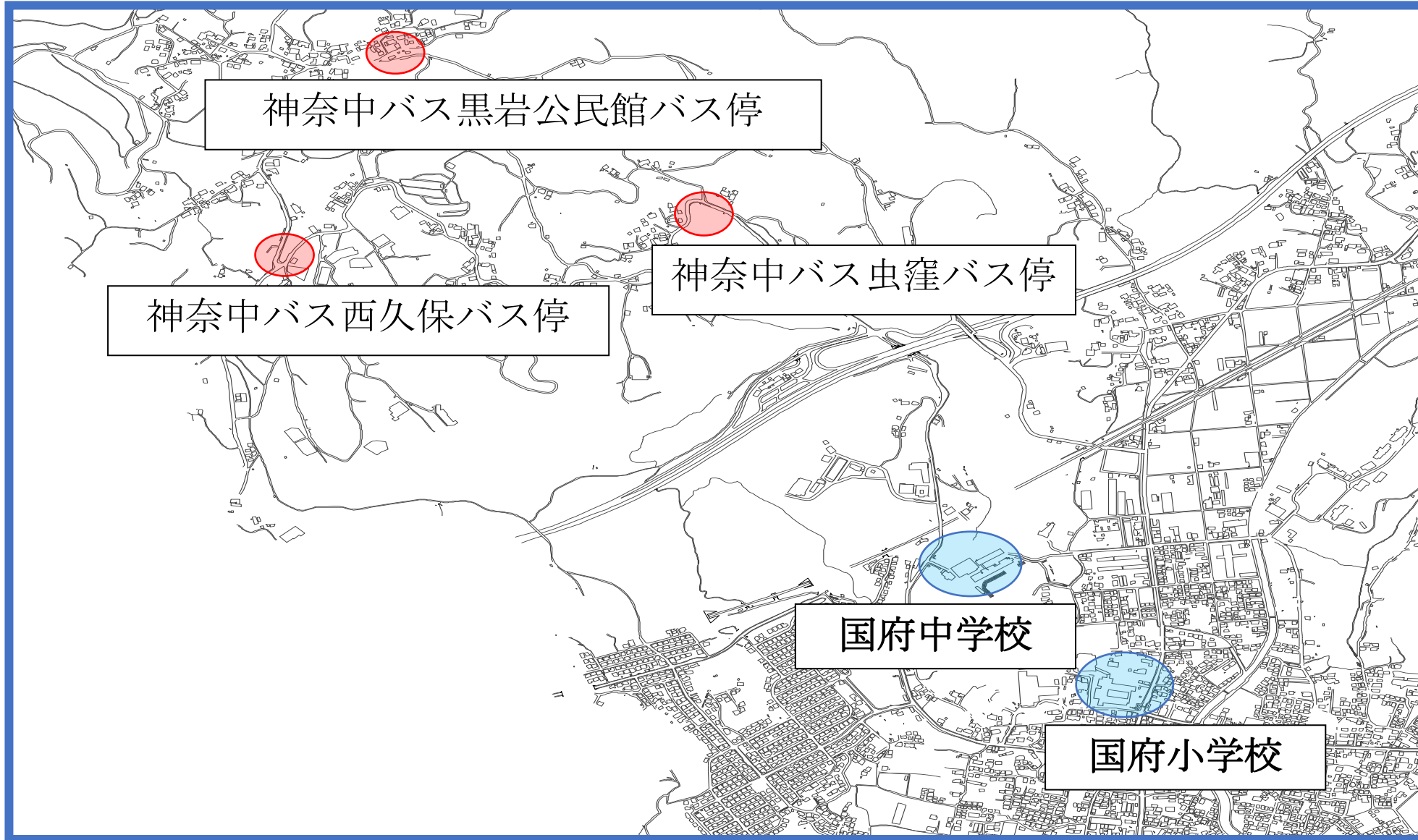
(夕)は大型タクシーで3往復 (6人乗り)での輸送

〈日 数〉 年間約200日（学校開校日） ※午前授業等の時間は調整する

※運用開始までに、上記ピンクの着色部及びその他の事項についても対象児童・生徒の保護者に対しアンケート調査を実施し改善していく

〈令和8年 秋頃 運用開始予定〉

【児童・生徒乗降場所】(案)



富士見地区住民説明会における意見

- (1) 日 時：令和7年10月18日（土）14時～15時15分
- (2) 場 所：虫窪老人憩いの家
- (3) 説明者：都市建設部長、都市計画課まちづくり・空き家対策担当課長、
開発指導係長、開発指導係主任技師
- (4) 参加者：虫窪地区：13名、黒岩地区：9名、西久保地区：7名、議員2名
- (5) 資 料：参考資料1（富士見地区における新たな公共交通について）
- (6) 質疑応答（抜粋）

【タクシー助成について】

- ①問い：タクシー補助を使えるのは平日のみか。
答え：平日のみの運行を想定している。
- ②問い：現在のタクシー補助は使えなくなるのか。
答え：夜間19時30分から20時30分まで運行しているタクシー助成は廃止となる。現在配布しているカードを廃止し、新たな登録カードの申請をお願いすることになる。
- ③要望：バスは年末年始休みだが、タクシー補助は使えると良い。
答え：年末年始の運行は想定していない。
- ④要望：タクシー助成は良いと思う。現在のバスの代替としての提案だと思うが、そもそもバスが100点のサービスではない。タクシーの目的地を定めず、どこでも乗り降りできるようにしてほしい。
答え：地域公共交通の役割が他交通へ繋ぐことであるため、目的地を定めることとしている。
- ⑤要望：混雑している時は、タクシーの送迎を断られることがあるのか。
答え：町内のタクシー事業者2社と協定を締結することになると思うが、状況によっては待ち時間が発生する可能性がある。
- ⑥問い：朝タクシーを呼んでも、集中すると来てくれないのではないか。
答え：状況によっては待ち時間が発生する可能性がある。前もっての予約を推奨する。
- ⑦要望：目的地について、二宮駅手前の堂面で途中下車できると、買い物などが行きやすいので、今後検討してほしい。
答え：ご意見を踏まえ、事業者と調整する。
- ⑧問い：ヤオマサで毎週買い物している。行きに迎えに来てもらい、そのまま待ってもらったら500円で済むのか。
答え：ご自宅から目的地までを1便とし、往復では2便の費用が生じる。
- ⑨要望：元々不便なところなので、タクシー補助は良い。使える時間帯が短い。町のサービスとしてはおぼつかない。
- ⑩要望：難しい制度にはついていけない。1人暮らしの高齢者に分かり易い交通にしてほしい。
答え：予算可決後、各地区で改めて説明会を行い、登録カードの申請など、丁寧な周知を図る。

【児童・生徒通学用車両運行について】

①要望：児童生徒のバスは必ず毎日使うわけではないので、1 か月定額制だと損する。

答え：料金については、今後も検討を進める。

②問い：学校への説明はしているのか。

答え：学校教育課へは事前に説明している。後日、国府小学校・中学校へは説明を行う予定である。

③要望：虫窪は範囲が広い。子どもの通学バス乗り場は1 か所ではなく、乗りやすいように3 か所程度検討してほしい。

答え：ご意見を踏まえ、事業者と調整する。

④問い：幼稚園生は、この通学バスには乗れないのか。

答え：現時点では想定していない。関係する所管課へは情報を共有する。